

9月21日、薬理学研究室の阿部 和穂教授による薬物乱用防止のための啓蒙講演「なぜ”薬物乱用”はだめなのか深く考えてみよう」が開催されました。

本講演は、武蔵野大学高等学校2年生の特別授業として行われました。

実施日時：令和6年9月21日（土）11:30～12:30

受講人数：高校2年生 375名程度

実施場所：武蔵野大学、武蔵野キャンパス（東京都西東京市新町1-1-20）、雪頂講堂

阿部教授は昨今問題となっている大麻や市販薬の過量服薬（オーバードーズ）などの薬物問題について、具体的な例を出して説明を行いました。また、薬機法（旧：薬事法）を例に出し、正しい知識を持って医薬品を使用する重要性についても訴えました。高校生たちのアンケート調査をもとに意識のズレを正すとともに、分かった気にならず、確実な知識と理解をもって「正しく怖がる」ことの大切さについて説きました。

さらに、「覚醒剤」、「大麻」ならびに「麻薬」の違いについて、薬理的な見地から各薬物の特徴について講義するとともに、薬物依存症との関連について化学構造を交えて分かりやすく説明しました。最後に高校生と同世代で問題となっているオーバードーズ問題について危険性を訴えるとともに、薬物依存症についての自身の見解について述べました。

「困ったとき「モノ」に頼るのではなく、「人」に頼ることを学習することが重要です。私たちが日々健全に過ごすためには、人と人のつながりがとても大切であることを再認識していただければと思います。」



武蔵野大学生涯学習講座において、阿部教授が解説している一般向けの薬物乱用防止講演の動画（無料）が配信されています。興味のある方は是非視聴してください

関連リンク

生涯講座動画 URL

<https://lifelongstudy.musashino-u.ac.jp/course/detail/6332>